

東京商工リサーチが 厳選する優良企業紹介 経営者に訊く 事業特性と今後の成長戦略

第2次安倍政権が誕生して以降、積極的な財政出動を前提とした経済対策を追い風に景況感は緩やかな回復基調で推移していると公表されており、中小企業白書(2018年度)においても、中小企業・小規模事業者の経常利益も過去最高水準を維持していると発表されております。これら経済政策の恩恵もあり、倒産件数は10年連続で減少傾向での推移となっており、中小企業・小規模事業者の取り巻く環境には改善の兆しが窺われる状況となっております。もっとも、倒産件数が減少傾向での推移を続ける一方、経営者の高齢化や後継者不足を理由に休廃業や解散する企業は増加傾向で推移しており、2018年に発生した休廃業・解散件数は46,724件にまで増加しております。

休廃業・解散件数は弊社が集計を開始した2000年以降、過去最高の件数となっており、年間の倒産件数と比較しても5.6倍に匹敵する数値で、企業の終末が「倒産」から「休廃業・解散」に変化している事を示しています。この為、現在ではリスクマネジメントに休廃業・解散を含めて考える事が必要となっています。これは日本銀行の「金融システムレポート」(2019年10月)でも「企業経営者の高齢化が進むも、後継者不足等から事業承継が円滑に進まず、休業や廃業に至る企業が増加している」と警鐘が鳴らされています。

一方で、休廃業・解散件数の増加に負けず劣らず伸張している数値があります。それが新設法人の件数です。2018年に全国で新しく設立された法人は12万8,610社で、リーマン・ショックのあった2009年以降、9年振りに前年を下回る件数となりましたが、高い水準で推移し、「休廃業・解散」と「倒産」件数を上回る法人の設立が続いています。

特に、2018年に設立された企業に多い業種は運輸業(前年比:20.6%増)、金融・保険業(前年比:12.7%増)、情報通信業(前年比:11.9%増)となっており、購買行動の変化を反映した物流会社やQRコード決済に代表される金融システムの開発等、IT関連業種の設立が多い年となっています。

現在では日本を代表する企業に成長した大企業も、町工場やマンションの1室から起業した時代があり、高度経済成長と共に産業構造の変化を生み出す原動力として日本経済の成長を牽引してきました。(株)東京商工リサーチでは信用調査に際して、著しい成長を遂げる企業に取材させて頂く機会が数多くあります。これらの企業は経営戦略、人材教育、管理マネジメントに悩みながらも会社を成長・発展させてきました。本誌では会社を成長に導いてきた経営者にインタビューという形で経営理念や企業特性を語って頂いております。これらのメッセージが新たな未来を切り開く原動力となる事を期待しております。

掲載企業

日進レンタカー株式会社

株式会社アジクル

株式会社e-flat

インフィニティコミュニケーション株式会社

エスセンス株式会社

株式会社OSMIC

株式会社外装専科

株式会社グローバルトラストネットワークス

コガソフトウェア株式会社

株式会社三平商会

株式会社シュクルキューブジャポン

ダイセーロジスティクス株式会社

株式会社ダブルエー・ホールディングス

中央建設株式会社

株式会社日本土地建物

株式会社HEXEL Works

株式会社横引シャッター

株式会社レーベルロジスティクス

CRMパッケージを中心に扱うエンジニアのプロ集団

エスセンス株式会社

代表取締役

新井 祥二

Profile

1964年東京生まれ。ジャパンステム（株）、イーシステム（株）を経て、エスセンスを設立。中小企業診断士。



SiebelをメインにMicrosoft関連事業の拡大も

CRM（顧客管理マネジメント）システムの代表的パッケージであるSiebel。このパッケージの導入・開発を支援するための会社

として、2006年、Siebel経験が豊富なメンバー4人で設立したのが弊社です（現在の社員数は15人程度）。

Siebelは、堅牢かつ柔軟性も高い、非常によく出来た製品なのですが、価格が高いために導入企業

はどうしても大企業に限られる、いってみればメジャーだけれどもニッチなパッケージ。従って、Siebelに精通したエンジニアの数が全体的に少ないため、弊社への需要は多く、設立以来、ありがたいことに営業をせずとも声がかか

る状態です。

このSiebelをメインの業務としながら、2012年からはMicrosoft社のパッケージであるDynamics CRM、その後もBI、AI、RPA等、他の事業も拡大してきました。そして気が付けば、単なるエンジニアではなくPM（プロジェクトマネジメント）業が主力になっていました。今後はCX（カスタマー・エクスペリエンス）も弊社の主力業務とひとつとなっていく予定です。

ワン・オブ・ゼムのいち“兵隊”としてではなく

これまで弊社がパッケージにこだわってきたのは、単価が高く、競争が少ないということもありますが、要は“人気者でいたい”からなんです。「お仕事をください」とお願いして、社員をワン・オブ・ゼムのいち“兵隊”として派遣するのではなく、あくまでも依頼される側でいたいのだと。そのためには、当然、社員たちには各自が高いスキル、つまり“売れるスキル”を身につけることを求めています。ですので、社員の給料についても一度も下げることなくこれまでやってきました。

そんな弊社のモットーは、「最終的にはいつでも転職できる人になってください」ということ。もちろん転職を勧めているわけではなく（笑）、すぐに転職できる人＝「外部からいつでも求められる人」になってほしいという意味です。

こういった弊社のあり方を一言で表現するとしたら、“エンジニアのプロ集団”ということになるでしょうか。それぞれに高度な技術を持ったプロたちが、ひとつの仕事のために集まって任務を遂行していくといった映画がよくあり

ますが、イメージとしてはそんな感じですね。ただし映画というのは言い過ぎで（笑）、その6掛けぐらいだと思ってください。6掛けを目指すというゆるい感じが、スキルさえ持っていれば、あとは出社時間も何も自由だよという弊社の雰囲気をよく表していると思っています。

将来的に見据えているのは量子コンピューター

実は僕個人としての希望をいえば、引退もしくは、交代でもいいのですが、10年後には一線から退こうと思っております。その場合、他の人間に会社を引き継ぐことを考えると、今は少数先鋭でやっていますが、もう少し売り上げと社員数を増やすべきだとは思っています。

そのための経営方針としては、

現在のエンジニアが集まったハイレベルな集団の形を維持しつつ、さらに人を増やし、育てていくこと。同業他社と組んで行うプロジェクトも多いので、そこで様々な交流を広げつつ、知見を広げることも続けていきます。そして、われわれを求めるマーケットがそこにあるのなら、その要望にもっと応えていくことにも尽力したいです。

その他に、今見据えているのは、一気にAIを飛ばして（現在AIも扱っていますが）量子コンピューター。会社としての方針は現時点では固まっておりません。具体的に何かができるとしてもおそらく数年は掛かるでしょう。でも、そこに触れていることで何か素敵なことが起こるかもしれないという楽しみもあり、学ば価値はあると思っております。



日夜スキルを磨く少数先鋭のエンジニアたち。取得しているISMSの他、今後は品質マネジメントシステムも取得予定。

企業名：エスセンス株式会社
TSR 企業コード：29-672362-2
事業内容：CRMを主にパッケージソフトウェアのインプリ
設立：2006年5月
住所：〒104-0061
東京都中央区銀座6-6-1 銀座風月堂ビル5F
TEL：03-5537-6004
WEB：https://ssense.co.jp/



汎用性が高く、高度な技術を有するソフトウェア開発企業